

他ノ干渉ヲ爲サシメス徹頭徹尾強硬ナル態度ヲ持
殊ニ細井常務ハ性極メテ頑強ナル處ヨリ如何ナル
事アリトモ工場側ヨリ讓歩解決スル能ハスト主張
シ居ルヲ以テ本爭議ハ當分解決ノ見込無シ
右及中(通)報候也

評記

(原文のまゝ)

細井工場の爭議以來官憲は一資本家細井某の争先とな
つて爭議団に對し常に苛酷なる迫害を加へつある事は吾等か之を再三
諸君に訴へ更ニ代々播磨の反省を促したのであるか代々播磨の市用振りは
一層露骨になつて爭議団に對して暴圧の限りと尽して居るではないか。

此れは僅かにその一例に過ぎぬか昨夜の演説會は爭議団に於て合法的な手
續と取り警察の許可を得て開催したるにも不拘百數十名の正私服巡
査と動員して聴衆と衆士に威圧を加へるのみならず衆士も吾等の忌諱
に觸るか如き言辞と遠く演説會場は極めて靜謐なりしにも不
拘署長自ら陣頭に立ちて何等の理由なくして突如解散を宣すると云ふ
か如き立憲國にあるまじき狂態はそもく何の爲ぞ彼等か如何に強弁
するとも爭議団切崩しに粉骨碎身して細井修造にむかすら忠
を盡してゐる事か余りに明瞭である、連日連夜一資本家の爲めに數百